

令和6年度 保健室経営案

養護教諭 黒木 未亜

学 校 教 育 目 標					
ふるさとを愛し、一人一人が輝く 徳・知・体の調和のとれた児童の育成		湯前っ子5つのすがた あ 明るい挨拶、大きな返事 い いい聞き方、目、耳、心で う 美しい場所、もくもく掃除 え 笑顔の言葉、思いやり お 落ち着いた生活、守ろう時間			
【なかよく】	思いやりをもち、助け合う児童				
【かしこく】	進んで学び、よく考える児童				
【元気よく】	たくましく、ねばり強い児童				
【ふるさと】	郷土に学び、郷土を愛する児童				
保 健 室 経 営 目 標					
○基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、発育に関する指導の充実を図る。 ○歯・口の健康づくりの充実を図る。 ○児童の心身の健康問題を早期に発見し、配慮を必要とする児童への組織的な対応の充実を図る。					
具 体 的 な 取 組			評 価		
			I	II	III
保健管理	1	検診時の挨拶や検診を受ける意義等の事前指導を十分に行うとともに、受診勧告等の事後措置を確実に行之、治療率の向上を図る。			
	2	未処置歯1本以上の児童に対して個別の保健指導を行い、進んで治療が受けられるようにする。			
	3	既往症を確実に把握し、全職員で共通理解を図る。			
	4	緊急時に備え、校内研修等を通して救急体制（連絡体制等）を整備する。			
保健教育	1	健康診断・日常の健康観察等の結果をもとに、児童や学校の実態に即した保健だよりを作成する。			
	2	季節や学校行事に合わせて、児童が自他の健康に興味関心をもてるような掲示物を作成する。			
	3	肥満傾向児（高度肥満）へ生活習慣の改善を目指した個別指導に当たる。			
	4	自他の生命を思いやる心を育てるため、担任と連携し、児童の発達段階や実態を考慮しながら性に関する教育を計画的に実施する。			
	5	歯科保健教育や薬物乱用防止教育、がん教育などでは、担任や講師と事前打合せを十分に行い、児童や地域の実態に即した指導を実施する。			
組織活動	1	学校保健委員会等で学校医と連携し、児童や保護者の健康に関する意識の向上を図る。			
	2	児童保健委員会が、季節や行事に応じた健康問題に関する啓発活動を主体的に取り組むことができるよう、指導・助言する。			
	3	児童保健委員会とともに、石けんやアルコール消毒の管理など、学校環境の整備を行う。			
健康相談	1	保健室来室が多い児童や欠席しがちな児童に対し、情報収集・分析を行い、問題の背景や要因を的確に把握するとともに、関係機関と連携し対応する。			
	2	掲示や机の配置など、児童や保護者が相談しやすい保健室経営を行う。			
	3	保健室来室者に対し、身体的な訴えや症状だけでなく、その要因や背景についても理解し対応する。			
	4	児童一人一人の教育的ニーズを把握し、担任等の他の職員と協力し、個に応じた対応を行う。【特別支援教育の視点】			
学期評価（達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成）					